

# にけーしよん

11/7

## ふるさと一本松祭



小雨降る中、満開のコスモスに包まれた広見地区の田園を主会場に、恒例の「第5回ふるさと一本松祭」が行われました。今年は四国バイクトライアルによる自転車アトラクションと地元中川地区の高校生、吉良祐哉<sup>ゆうや</sup>くんによるオートバイの共演が行われ、会場から盛んな拍手が送られていました。また、地元一本松にゆかりのある「大目真菰<sup>しんいろう</sup>とロス・トマテス」によるアンデス音楽コンサートも行われました。

このほか一本松小学校のコーラス、一本松中学校音楽部の演奏、広見地区の唐獅子・六ツ鹿踊り、ビンゴゲーム、餅まきなどが行われ、会場では地元特産品などの物産販売や野点も行われました。

また、午後からは空も晴れ上がり、会場の田んぼに作られた特設土俵では、闘牛の土俵入りや迫力ある結びが行われ、会場近くの広見コミュニティセンターでは、南宇和高校吹奏楽部のパワフルな演奏がありました。



## うみびより 本日!海日和!!「トラ年の魚たち」

寅年も終わりにになりましたが、今年はどんな年でしたか。今回は、寅年にちなんでトラウツボを紹介します。

ウツボの仲間は、大きな口や蛇に似た体から、怖い魚だと思っている人も多いと思います。私もダイビングを始めたころはウツボの仲間に出会うとヤバイ!と逃げ出したものです。でも、何度も出会ううちに、本当はおとなしい魚だと気づき、今ではウツボの仲間を見つけると、目と鼻の先まで近づき、その

迫力のある顔を写真に撮るようになりました。写真のモデルも、撮影会を開いている最中に、クネクネと泳いで逃げて行ってしまいました。

ちなみに、愛南町では右の写真のウツボをトラウツボと呼ぶことが多いようです。魚の呼び方にも地域性があるとおもしろいですね。

(撮影:2010.6.27 鹿島 水深12m)環境省自然公園指導員 西尾知照



# 愛南こみゆ

## 10/11~29 ふるさとの海を守りたい!

「国連生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)」にあわせて名古屋市で開催された「生物多様性交流フェア」に、愛媛県では唯一、内海中学校が取り組んでいるサンゴモニタリング活動が展示紹介されました。

内海中学校ではシーカヤックやシュノーケリングを体験する「海学習」の一環として、昨年度から黒潮生物研究所(高知県大月町)と連携して、サンゴの白化現象や食害生物による被害などを調査しています。

同校の活動は、四国環境パートナーシップ(高松市)のブースでポスター展示されるもので、同校を代表して3年生の児島咲映さんと高魚真由美さんが、名古屋の会場で活動のPRをしました。「私たちの活動が、重要な国際会議の会場で紹介されてとても嬉しかったです。これからも内海(愛南町)の素晴らしい自然を守るために活動を続けていきたいです」と感想を述べてくれました。



## 10/27 美しい河川環境を守ろう!

愛リバー・サポーターの「僧都川みどり公園愛好会(増田征夫会長、会員15名)」が、快適で美しい河川環境の維持に多大の貢献があったとして、加戸守行愛媛県知事から感謝状が送られました。

同会は平成4年に結成され、僧都川中流の「みどり公園」付近の清掃活動を月1回行っています。このたびの表彰を受けて増田会長は「大変光栄なことで責任の重さを感じます。これからも気持ちを新たに活動をしていきたい」と述べられていました。



## 10/28 アラスカ・フォトライブ

城辺中学校体育館で、松山市出身の写真家、松本紀生さんを講師に、同校PTA研修部主催による親子感動体験事業「アラスカ・フォトライブ」が開催され、生徒や保護者など約270名が参加し、スクリーンに映し出されるアラスカの雄大な自然を鑑賞しました。

トドやヒグマ、ザトウクジラの珍しい生態や、北米大陸最高峰のマッキンリー(6,194m)と幻想的なオーロラの撮影など、松本さんの体験談を交えながら紹介され、見たこともない映像が写されるたびに参加者から驚きの声が上がっていました。

